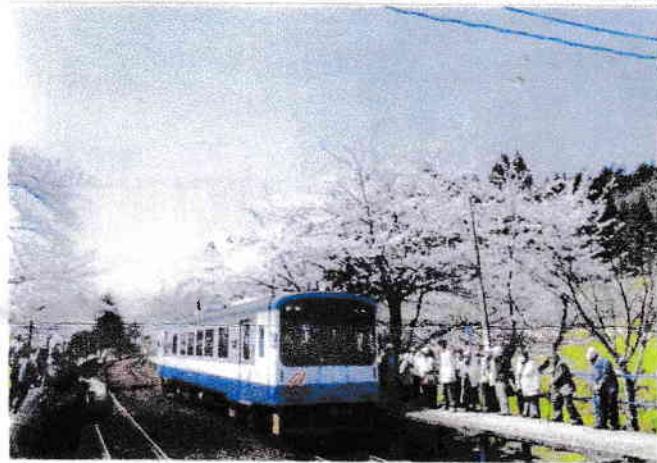


しんぶん つむぐ

# 『訪ぐ』

2025.2.1 第86号

発行 教育相談室「あした塾」 発行責任者 滝井元之  
連絡先 927-0014 石川県鳳珠郡穴水町梶リの197  
☎・✉ 0768-56-1152 (自宅☎ 0768-56-1151)



満開の被美地桜くぐり抜け  
かと鉄道の夢走出す

新春恒例の「歌会始の儀」が1月22日、皇居・宮殿「桜の間」で催されました。今年の題は「夢」で、衣装・入選者10名の歌の中から長崎県の馬鹿舟さんによる詠んで、「満開の被美地桜くぐり抜け」「かと鉄道の夢走出す」とありました。能登半島地図のあと桜の季節には走らせてかと鉄道復旧に取り組んだらかと鉄道関係者他の皆さんの努力を知り、この歌を詠んだとの解説がありました。(NHK放送)

発火や一斗が経りましたが、豪華な解体式進んで集落の夜は文字通り「真っ暗」です。わざわざ街灯やポーチを見ねなければ。このように集落が明かり、成長していくことが本当に一步一步進まなければ…。



明けましておめでとうございます。昨年は沢山ほたてをたくさん応援していただきありがとうございました。  
今年も頑張りますのでよろしくお願い致します!

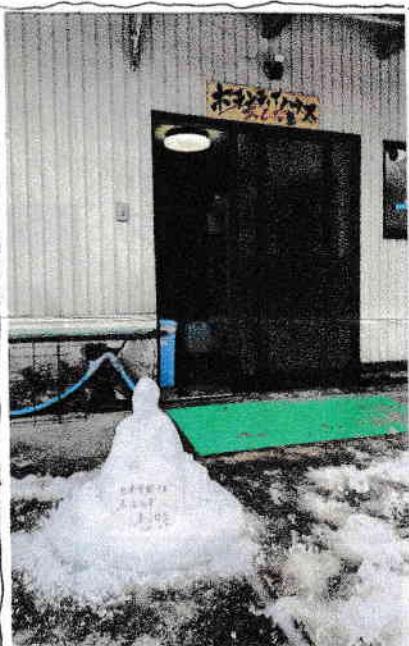
令和七年 元旦

正海く祈り晴空へ希望を

毎年 水町を訪れ、ミニコンサートを開いてくれたシンガーソングライターでタレントの沢田弘江さんから手書きの届きました。

この1月1日に能登半島地

震復興応援ソング「正海く祈り晴空へ希望を」を発売しました。戸水等を訪れて感じたことを曲にしてあります。この曲はユーチューブで聴けます。ぜひ一度聴いてみてください。沢田さんはいしかわ観光大使でもあります。



1月9日、神戸の建築士さんが少し積氷雪で雪モルヒを作りました。「人の力を信じます。きっと笑顔になれる日が

# 阪神淡路大震災から30年

1995年(平成7年)  
1月17日(火)  
午前5:46  
発生

1995年1月17日を契機に阪神淡路大震災からもう30年に到ります。ボランティア活動とも言われ、その後多くの教訓を学んでくれました。しかし、その教訓は能登半島地震に生き残ったのでしょうか。



## 「阪神淡路大震災30年の集い」

本日1月16日(木)に神戸市長田区の二葉町で開催されました。神戸大学の室崎益輝名誉教授の基調講演のあと、福島県双葉町の高倉伊助さん、新潟県山古志村の中田重雄さん、兵庫県震災復興研究センターの出口俊一事務局長、NGO国境なき災害支援隊代表の吉田・ホリさんらに加えて私(濱井)も水・能登の現状、今後の課題について発言させてもらいました。

福島県の高倉さんは「私たちには復興はない」と発言されました。とても重い言葉でした。原発事故の現実です。一方で、17日の朝夕両半起きて長田区の各地で行われた慰靈祭が1つ参加してきました。最も被害が大きかった長田区のいろいろな現場を室内で見ると、「人の力ってすごいね」と思いました。時間がかかったことは思いました。人が喜ぶ喜ぶを

出来、人が喜ぶ喜ぶ所へ行っていましたし、30年経つともがら、当時を思い、伝える努力を続けていました。  
(濱井元之)



## ミリオネースターズ

### 殿田選手



城、45号で東野選手を、水3人の 加藤選手として紹介しましたが、先輩で水の中学校から日本航空高校万川に進学し、現在万川ミリオネースターズで活躍している殿田大和選手(20)が3人目でした。東野選手は久々見つけました。(情報収集不足でした。申しわけありません。写真はミリオネースターズHPより)



復興のシンボルとして横山光輝さんの銅像が設置されました。

(長田区二葉町の慰靈祭。以下)

左カラム: 日本航空高校万川校選抜大会出場します。

相談や情報は「あひる舎」へお願ひします。TEL 0788-56-1151 FAX 56-1152